

我が家の息子は「小規模特認校」の制度を利用して東清小学校に通っています。この制度を知ったのは息子がまだ小さかった頃なので、東清小が小規模特認校になったばかりの頃かもしれません。

ゆりかもめ東清分館に通っていたお友達から、「こんな素敵な学校があるよ」と、たしか白黒コピーのチラシを見せてもらいました。

少人数で、米作りもできて、自然もあって、地域の方との交流もある、そんな内容のチラシだったと思いますが、「こんな小学校あるんだ、いいなあ」と思ったのと、「6年間送り迎えするのは大変だなあ」とも思いました。

でもまだ幼稚園にすら行っていないくらいの年齢だったので、そこまで深くは考えていませんでした。

本格的に考えるようになったのは、息子が保育園の年中になってからでした。息子が通っている保育園運営の学童ができて、校内の空き教室でスタートしたこと、身近に小規模特認校制度を利用して転校・入学させた人がいて、色々な話が聞けた事、運動会も2年見に行き、授業参観やバザーなどの行事も見学した事で、「いいなあ、通わせたい」と強く思うようになりました。

送り迎えのことも、保育園での送り迎えの延長で、「6年延びただけ(笑)」と考えるようになりました。

朝は弱く、早起きが苦手ですが、覚悟を決めました!!

でも、すんなりと決まったわけではありませんでした。

通わせたい母（私）、

同級生の人数を聞いて、「もう少し人数がいれば…」、通学が送り迎えになることで、保育園ではたくさん歩いていたのに歩かなくなる事を心配する父（夫）、学区の小学校に行くつもりでいる息子には、「東清小には行かない」と言われました。

少人数の学校に通うというメリット、デメリット、どちらも考えましたが、やはり東清小に通わせたい!

息子には、学童の事や高学年になってからの田植えや稲刈り、東清小ならではの授業の事など、理由をきちんと説明したら納得してくれました。

夫も、東清小の事をいいなと思う気持ちは同じだったので、時間はかかりましたが決断してくれました。

実際通っていて、小規模特認校の東清小に入学してよかった！と思っています。
1年生～6年生、そして先生、みんながみんなの顔と名前を分かっています。
縦割り授業があり、息子は一人っ子なので、上級生や下級生と関わる事が出来る環境に感謝しています。
休み時間などは学年を越えて遊び、時には先生とも一緒に広い校庭でのびのびと遊んでいます。
授業でも先生の目が行き届きやすく、勉強は一人ひとり丁寧に教えてもらえます。
学習発表会では、1人ひとりが大きな声で発表します。みんなが主役です。
地域の見守り隊をはじめ、たくさんの地域の方々、保護者に見守られ、協力して頂いています。

学童のサンシャインでは、東清小の畑を借りて、支援隊の皆さんの協力のもと、四季折々の野菜を植えて、収穫して、いただきます。
グラウンドも借りて外で遊ぶこともできるし、雨の日に体育館を借りて裸足で走りまわって遊べます。
夏休みには、水道を借りて水遊びもできる、こんなに恵まれている環境にある学童もなかなかないと思います。

少人数制で特色ある東清小が「小規模特認校」で、「学区外」からでも通えるということ、小学校も「選択」できるということをたくさんの人に知ってほしいです。
そして、私は「選択」して、「小規模特認校」の東清小に息子を通わせています。